

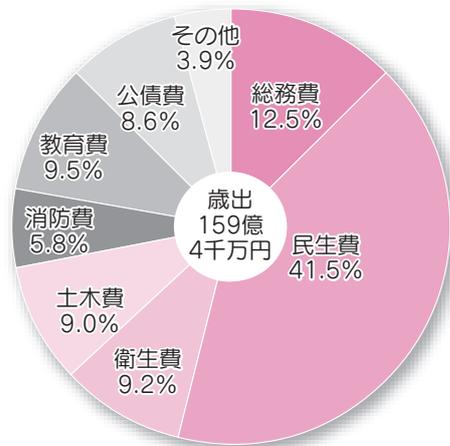
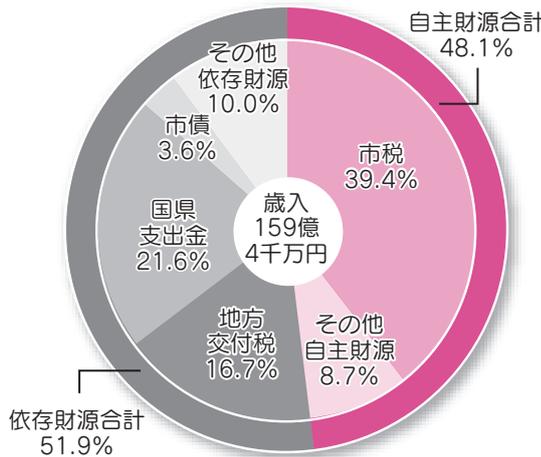
令和4年度 一般会計予算成立

一般会計 **159億4,000万円** (前年度比 3.4%増)

歳出

主な事業は、子育て世帯の支援、児童・生徒に対する学習支援ソフトの導入、若年層の市内への移住・定住の促進、公共施設のWi-Fi環境の整備、雨水流域貯留施設の設計、駅東口公衆トイレの建設など。

一般会計



歳入

歳入総額は前年度比**5億3000万円(3.4%)増**
市税は前年度比0.3%減の62億8302万5千円

令和4年 3月定例会

令和4年3月定例会は2月18日から3月18日までの29日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案8件、3年度補正予算案4件、4年度当初予算案8件、補正予算案1件、事務組合の規約変更1件、諮問案件2件、議員提出による規則改正案1件、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決议案1件が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意しました。一般質問では、14人の議員が市政をただしました。

歳出性質別 (単位:千円)

区分	令和4年度	
	予算額	小計(割合)
義務的経費	3,137,174	8,399,746 (52.7%)
人件費	3,886,299	
扶助費	1,376,273	
投資的経費	525,688	(3.3%)
その他経費	普通建設事業費	2,872,145
	物件費	84,444
	維持補修費	2,055,459
	補助費等	1,836,102
	繰出金	104,915
	積立金	31,501
	貸付金	30,000
予備費		
合計	15,940,000	

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

特別会計 (単位:千円)

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	5,927,542
後期高齢者医療特別会計	806,679
介護保険特別会計	4,308,814
農業集落排水事業特別会計	36,159
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	288,281
合計	11,367,475

(水道事業および公共下水道事業を除く)

令和4年3月定例議会
本会議議案質疑内容

(議案第10号)
令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第9号)

質疑

コロナ関係の令和3年度補正予算の内訳について伺います。

答弁

報酬83万6千円、需用費880万5千円、役員費2766万7千円、委託料5億6750万7千円、使用料及び賃貸料2785万6千円、備品購入費150万円、このほか人件費・会計年度任用職員の報酬等5617万3千円です。



▲接種会場

(議案第14号)
令和4年度幸手市一般会計
予算

質疑

雨水流域貯留施設整備設計業務委託料817万4千円について、貯留施設の場所及び役割を伺います。

答弁

場所は日本保健医療大学幸手北キャンパスの校庭です。大雨時に河川に一気に流れ込む水を一時的に貯留、浸透させるもので、流域内の浸水被害を軽減するために効果的な施設となります。

質疑

しあわせ家族ウエルカム補助金300万円の目的や給付条件、注目を集めるための仕掛け方法を伺います。

答弁

若年層の定住を促進し、活力あるまちづくりを進めるため、若者夫婦世帯の市内への移住・定住を図ることが目的です。補助金の交付条件は、令和4年4

月1日以降の契約に基づく新築または売買により取得した住宅であること、居住面積75㎡以上であること、交付対象者及びその配偶者、この二方とも継続して1年以上市外に居住し、初めて住宅取得に伴い当市に転入していること、転入してくることを条件としています。

質疑

令和4年度地方財政計画によりますと、地域社会のデジタル化の推進と公共施設の脱炭素化の取組等の推進があげられています。が、本市の取組について伺います。

答弁

地域社会のデジタル化の推進については、公衆無線LAN環境整備やウェブ版水害ハザードマップの運用、ICT教育専門員の配置等に係る予算を計上しました。

脱炭素化の取組については、電気自動車急速充電器の更新、環境に配慮した公用車2台分の購入、防犯灯・道路照明灯のLED化改修、生ごみ処理容器等助成金・住宅用太陽光発電システム設置費の補助・稲わら焼却対策事業補助金を計上しました。

賛成討論

四本 奈緒美議員

幸手市地域防災計画の改定は、女性の視点・意見を活かした「誰一人取り残さない」SDGsの理念に沿う策定を期待する。公共施設への無線LAN設置は、防災体制の整備と共にデジタル化の推進にも寄与する。公明党はこれらをもって賛成とする。

坂本 達夫議員

この予算には、就学前の子供を養育する世帯に幸手産米を支援する事業、タブレットで学習する児童・生徒に学習支援ソフトを導入する事業、若者夫婦世帯が転入し、住宅を取得する際の費用を補助する事業がある。若い人、若い世帯を援助しており、評価する。

武藤 寿男議員

依然として厳しい財政状況が続きます。財源確保を図りながら職員の皆様には公務員としての責任と市民の皆様には奉仕する誇りを持って、英知を結集し創意と工夫をされ、可能な限り市政を進展させていただきますよう、期待をもってお願い致します。

令和4年度 新規事業

ハッピー・スマイ(米)ル推進事業の経費	9,161千円	農業振興地域整備計画基礎調査の経費	8,932千円
実用英語検定団体検定料の補助	1,863千円	市道 1-1 号線道路舗装工事の経費	100,000千円
ICT教育専門員配置に係る経費	1,431千円	市道 2-13 号線道路舗装工事の経費	36,000千円
G I G A スクール用学習支援ソフトに係る経費	24,420千円	市道 2356 号線道路舗装工事の経費	23,500千円
産婦健診の経費	2,300千円	上船渡橋架換事業の負担金	31,129千円
電気自動車急速充電器更新の経費	3,500千円	雨水流域貯留施設整備設計業務委託の経費	8,174千円
環境に配慮した公用車購入の経費	9,374千円	第3ポンプ場ポンプ交換工事の経費	85,000千円
さくらねこ無料不妊手術事業啓発の経費	100千円	大中落流域水路設計業務委託の経費	4,000千円
Web版水害ハザードマップ運用の経費	510千円	都市計画基本図更新の経費	19,492千円
防災行政無線の整備の経費	5,563千円	LED公園灯整備工事の経費	5,550千円
公共施設への公衆無線LAN設置の経費	17,887千円	駅東口公衆トイレ建設工事の経費	40,000千円
庁舎建設基金への積立	100,000千円	総合振興計画後期基本計画策定に係る経費	6,251千円
		若者夫婦世帯への住宅取得費用の補助	3,000千円



▲ 就学前の子どものいる世帯に幸手産米が届きます



▲ 駅東口エレベーターわきにトイレが出来ます (イメージ)

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」を全会一致により可決しました。

幸手市議会では、今回のロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍の即時の攻撃停止と、完全かつ無条件での撤退を強く求め「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決いたしました。

また、幸手市議会議員互助会から「ウクライナ人道危機救援金」として10万円を、日本赤十字社埼玉県支部へ寄付を行いました。